

# 令和4年 第1回掛川市・袋井市病院企業団議会定例会 報告

開催日時 令和4年2月10日 PM 2:00～

開催場所 中東遠総合医療センター3F会議室

出席者 戸塚議長、大場正、山田貴、安間亨、大庭(記)

## 1. 全員協議会 PM2:00～

### ・宮地企業長挨拶

要旨> 当院が置かれているコロナの状況、極めて深刻な状況。500床の病院で第5波で320床程度まで下がっていたが、その後380床まで回復していた。第6波の前の1月終わり頃は430床から450床まで入院が戻っていた。この時期、心不全、脳卒中などの入院が多くその一般診療に対応していた。その後、第6波において、磐田病院で院内感染や、この地域における感染者数が増加し、現在、その影響を受けている。今回のコロナは、重症者はいないが無症状や軽症の患者が多く、院内感染を防止するのが大変になっている。当院では、現在、入院者は3日前のPCR検査を実施しているが、患者によっては当日のPCRも行っている。個室利用が多く、450床の病床を330～340床に減らしている。一般診療を減らせないので、70床程度を周辺他病院で対応して貰っている。最近、磐田病院の院内感染は治まってきたが、一方、圏域ではクラスターがさらに多く発生しており、これらの状況に対しても当院で対応しなければいけない。大変厳しい状況だが地域医療の発展のために尽くして行きたい。

### ・報告事項

#### (1) 令和3年度の運営状況について

- ア 職員数の推移
- イ 診療実績
- ウ 病院事業会計の概要
- エ 患者満足度調査結果の概要
- オ コミュニケーションボックスの状況

#### (2) 新型コロナウイルス感染症に係る財政支援の状況について

#### (3) 将来を見据えた病院整備方針について

#### (4) 企業団議会の定例会について

- ア 令和3年度病院事業会計補正予算(第2号)の概要について
- イ 令和4年度病院事業会計予算の概要について
- ウ 専決処分の承認を求めることについて

(掛川市・袋井市病院企業団企業長の給与及び旅費に関する条例の一部改正)

・主な質疑（要旨）

< 全員協議会での各議員からの意見・質問 >

■全協質疑

◆令和3年度の運営状況について・・・・・・・・・・資料1 2 3参照

- Q コロナの患者の受け入れ状況（宿泊療養・自宅療養）を教えてください。
- A 厳しい環境下だが、現在も救急患者は断ることなく97～8%受けている。当院ではコロナ患者も断っていないが重症化していないので、ほとんど在宅療養となっている。第5波の時は50人程度いたが、第6波では15～20人程度。多いときは、120人程度宿泊や在宅に対応している。高齢で基礎疾患のある人が亡くなっている。
- Q コロナ患者へは電話確認をしているのか。
- A オミクロンはデルタとは違うので多くを電話で対応している。
- 
- Q PET検診の稼働率低いことが課題となっている。最近、尿でがん検診出来ると聞くが、その様な検診方法とPET検診との今後の関係はどうか。
- A PET検診も完全ではない。1cm以上のがん細胞でないと見つからない。また、種類によってPETで写らないこともある。腫瘍マーカーなど組み合わせながらやっている。コロナで自粛していることが理由なのか、進行がん増えている。この1年50例のがん患者を検出している。そこでPETや胃カメラなど組み合わせせて対応していく必要がある。
- 
- Q 現在医師数135名、看護師602名となっている。今後の各科の医師の配置などどのような見通しを立てているか。
- A 引き続き医師確保が難しい状況にある。しかし、院長就任以来、研修医確保を積極的に進めてきている。結果現在では、当院の研修医の状況は、全国600以上の病院、8000人以上の研修医がいるが、当院の1年目82位、2年目は37位、総合成績31位と非常に優秀であり、県下ではトップである。優秀な研修医に残ってもらう必要があり、引き続き20人を目標に優秀な研修医を確保していきたい。
- 医師の数だが、当院は消化器内科3人、近隣の病院でも12～3人いる病院がある。血液内科も以前3人いたが今は0人。糖尿病の医師も2人だが定年でいなくなる。こうした実情を踏まえつつ対応しなければいけない。その為にも、指導医がいらないといけないし、ここの病院を発展させるといった気概のある人材を望んでいる。これら課題に対応すれば改善が図れると認識している。
- 
- Q 認定看護師22名、今後の増やす予定はあるか。
- A 現在22名いる。業務を考えると2人体制が必要であり、後継者を考えたい。現在は急性期を中心にやっているが今後、在宅医療を考えると認定看護師を増やさないとカバーできないと認識している。当院の認定看護師の教育は充実しており、合格すると病院が費用負担している。こうした病院は少ない。看護師が行う特定行為の研修者が1名いる。また、2名研修中である。

◆ 将来を見据えた病院整備方針について・・・・・・・・・・資料4 5参照

Q 敷地内薬局の導入に伴う、駐車場の広さ、費用等はいくら掛かるか。今後の進め方は。  
A 400㎡2階建て。10～20台。費用は両市には求めない。現在駐車場不足していることから整備したい。

Q がん治療の機器（サイバーナイフ、トモセラピー）予算はどのくらいか。  
A がん治療における、抗がん剤治療、放射線治療など抗がん治療は高価になる。また、高齢者には大変な治療となるが、放射線治療は体に優しいのが特徴。今回導入の機械はピンポイントで当てることが出来る。ナイフについては聖隷で既に入れている。トモセラピーは3年後を予定している。1台15億円くらいする。それを8～9億円で価格交渉をしている。ニーズは高齢者にある。この機械を入れるのは静岡、浜松市内、がんセンターでも入れる予定はない。当院が入れてそちらの患者を受けていく。従来放射線治療は4週～5週掛かっていた。この機械を使うと数日で終わる。入院でも良いし通院でもいい。これからそういうことで、遠くの患者を集める、放射線治療をメインで行う。また保険診療もできる。

Q 敷地内の薬局の提案について、これから、薬剤師との関係は大丈夫か。  
A 排除するつもりではない。薬剤師は頭書は月一金だった。でも日曜日でも日勤をして貰っている。薬剤業務は大変。救急車も20台、休日診療も50人位くる。休日が大変。そこに薬も8割出る。日曜日でもやって欲しかったが無理だと言われた。今、当院の薬剤師30人だが1名と来年中堅が辞める。今後増えない。薬剤師は30年前は病院も調剤薬局もほぼ同数だった。今は病院の薬剤師は10%しかいない。調剤薬局の薬剤師は3.5倍に増えている。明らかに差がある。切羽詰まっている。今入院する人も沢山いろいろな種類の薬を持ってくる。これを調べて出していくのはかなり大変な仕事。土日の時間外勤務も問題になっている。時間外も当直もやらなければならない。うちの病院を助けて貰えないかと言ってきた。なかなか難しいといわれている。私たちは病院、医療を守るためこれ以上薬剤師減ってしまったら大変。医療を守るために必要、彼らも連携が必要と思っている。将来を見据えていくと言うことをご理解いただきたい。

Q 敷地内薬局の件、来年スタート、スケジュール的に厳しい。市内の声を聞いてきた、禍根を残すのではないか。反対している薬剤師と時間をかけて話をする必要がある。  
A 時間をかけたら理解、それは疑問だ。話し合いをする皆さんは理解している。その後方にいる人が反対。働くところが本当になくなるのか。経営的にどの程度厳しくなるのか疑問。医者が来なければ、この中東遠は潰れます。今後薬剤師を増やすにはどうしたら良いですか。病院薬剤師に来ないが調剤薬局には来る。それなら私たちの病院で働いて下さい。それが本当の気持ちです。いつでも受け取ります。大変厳しい状況をご理解いただきたい。  
A 管理部長補足・・この病院を維持していきたい。実際薬剤師会と話をした、開業医の門前薬局・・矛盾していることは分かるが、これまで取り組んだ医薬分業と逆

行している。何故病院だけ駄目か。矛盾していることは分かっている、薬剤師会でも事情は分かるが 国県の反対で、それに参加することも理解して欲しい。お互いの事情も分かる。腹を割って話し合っている。ご理解願いたい。

- Q 敷地内薬局の話がこのまま進むと影響がでる。小さな薬局は店をたたまなければいけない。中東遠の薬剤師を確保するために押し切られると。まちの薬局はなくなり、大手の店が残る。小さな店が持ちこたえられるのか。それぞれの町の関わり、市の医療全体をもう少しやってから案を出すべきではないか。
- A 薬剤師薬局がその病院のところに出来たわけであって、薬剤師会全体で話し合っただけ出来た中小の薬局はすぐソバにある。その薬局に院内薬局が出来ても多くの影響があるとは思えない。いくつか影響あるかも知れないが、そんなに多くはない。どれほど多くの意見を代表して意見を言われているのか。

- Q 薬剤師が中々確保できない。その状況は分かった。薬剤師の処遇を改善できないのか。来て貰える職場環境を出していない。中東遠の薬剤師をなんとかすると言うところから出ているのが問題だ。
- A 努力しました。努力しました。彼ら、薬剤師は個人です。努力して改善している。有給休暇も取っています。環境も良くするようにしています。そうしても無理です。私の努力が足りなければ謝ります。薬剤師を送ってくれたらと言いました。無理ですと言われた。患者に利便があることであり、地域医療にダメージを与えない。
- A 薬剤師伊藤部長・・・ 薬剤師は人一倍頑張っている。毎年採用は1～2名採用している。菊川、御前崎は採用もしてない。家庭の事情で辞める人もいる。産休、育休で辞める1～2人もいる。当直1名、12病棟あるし、救急外来もある。迅速に行わなければいけない。肉体精神非常にハードとなっている。業務改善もしている。看護師や医師の協力で改善もしている。常時宿泊もしている。これ以上業務が出来ない。

議長 反対意見もあるという事を耳を傾け考えていただきたい。

- Q 敷地内薬局導入の件について、話を伺って 支持する立場で発言させていただきたい。25年からスタートしたセンター、建設協議から私ずっと関わらせていただいていた。個々に言えば、袋井市民病院がなくなり、中央薬局がなくなり、関係者は随分辛い思いをした。しかし院長の言葉の通り最終判断したのは院長のお言葉の通り、圏域の医療を守る、と言うところになった。患者にとってプラスかマイナスか、病院にとってプラスかマイナスか、このことを前提に判断すべきだと思う。1点、考え方を伺いたい、将来を見据えた病院の整備方針としてあります。お金が掛かる事業となっている。今日のところはテーマだけ掲げてあるが、トータルの今後かかる経費についての計画を出して欲しい。
- A お金の考え方 放射線治療器は先ほど話した。今後の整備はどれだけの規模でやるか15～20年を見据えて過大でも困る。小さすぎてもいけない、それを見据えて色々検討している。それによって、金額的にも変わる 今やっているのはどれ

くらいのもを作るか、話し合っているところ。近々固まってきましたらその辺のところを出していきます。両市に負担をしていただくことになろう？と思う。バランスを取って行きたい。

◆令和3年度病院事業補正予算、令和4年病院事業会計予算について・・・

資料6 7 8 9 参照・・・

Q 令和4年度予算で入院400人、外来1150人、この数字で特に入院400人の見込みは大変では。最近の状況を知りたい

A 入院はこのところ400人は超えてない。コロナが収まったときは、もう少しで400人となっている。コロナの収束で期待もある。急性期医療も増えると思う。

Q コロナの補助金15.47億円の補正で約30億となる。この数字が9月迄の見通しと言うことで、それ以降の分はを入れるとどの位か。また、令和3年度における新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金はどうか。

A 9月以降、10月～11月分を県と協議中だが、13億を少し超える。まだ正式ではな。43億円 さらに上乗せが視野に入っている。

処遇改善のことについて、国の方針としては 空床保証でお金を補助して貰っている。確定前だが看護職員の処遇改善は今後相談をしながら、職員に支給したい。

(空床保証2/1～35床分、それ以前25床分保証を受けている。7階東病棟49床。)

Q 処遇改善を年度末で考えているとの事だが、補正で何故出さないか。

A 補正の手当、トータルの枠の中で反映されている。

Q 人勧にともなって給与引き下げの事は無いではないか。人事院勧告を受けなければいけないか。

A 当院は存立したときから、病院が出来たときから、公立準拠、それが両市のスタートの共通認識である。状況が変われば別だが現在のところはそのままだ。

年末によく頑張ったと言うことで出したい。一律に出したい。職員も出せるがそれ以外の職員もいる、協議をしているところだ。

資料 1

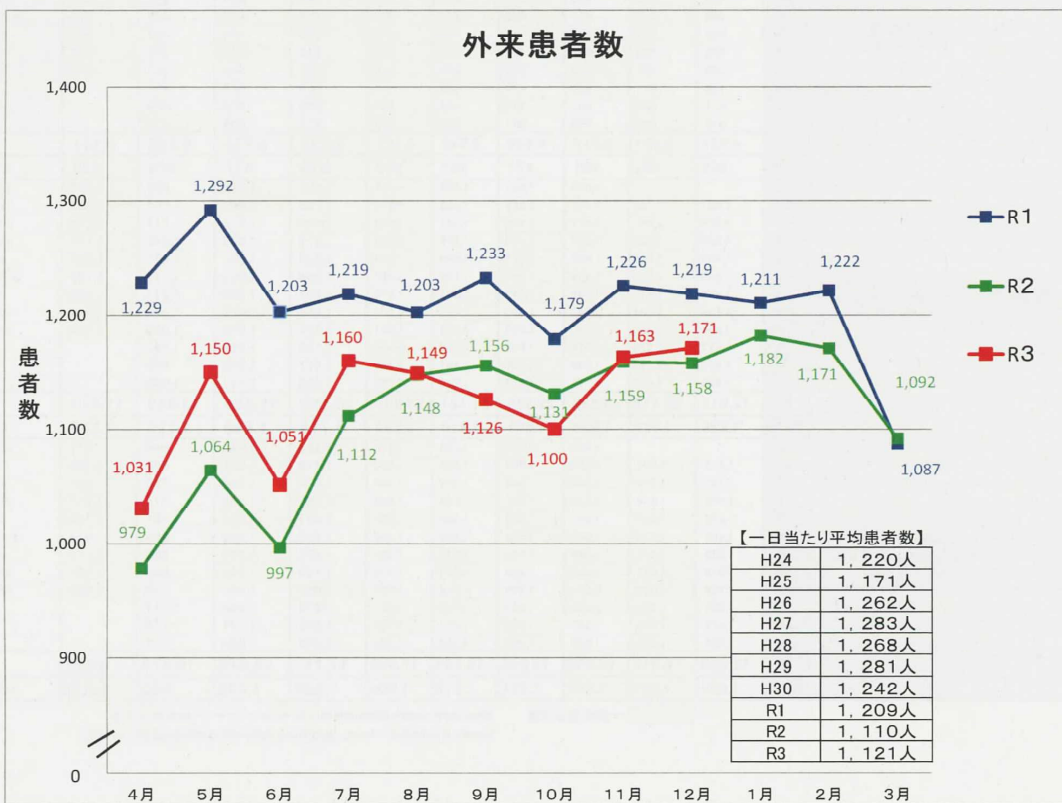
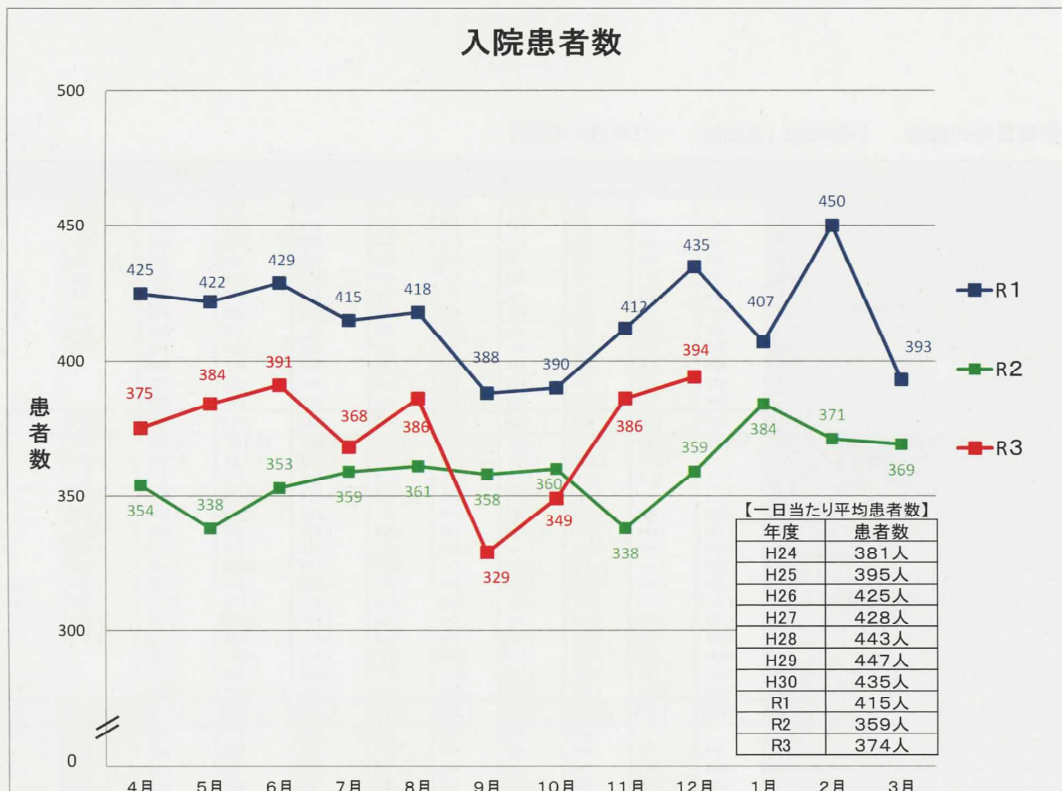
令和 4 年 2 月 10 日  
 全員協議会資料  
 管 理 課

職員数の推移

R4年1月1日現在

大分類	職種	H29.4.1				H30.4.1				H31.4.1				R2.4.1				R3.4.1				R4.1.1							
		正規	派遣	非常勤	合計	正規	派遣	非常勤	合計	正規	派遣	非常勤	合計	正規	派遣	非常勤	合計	正規	派遣	非常勤	合計	正規	派遣	非常勤	合計				
医師	総合内科	5			5	2			2	2			2	2			2	2			2	2			2	2			2
	糖尿病・内分泌内科	2			2	2			2	2			2	2			2	2			2	2			2	2			2
	腎臓内科	4			4	4			4	5			5	6			6	4			4	4			4	4			4
	血液・腫瘍内科	2		1	3	1			1				0	1			1	1			1				0				0
	脳神経内科	2			2	2			2	2			2	2			2	2			2	2			2	2			2
	呼吸器内科	5			5	4			4	5			5	5			5	5			5	6			6	6			6
	消化器内科	4			4	4			4	5			5	4			4	4		1	5	3		1	4	4			4
	循環器内科	10			10	10			10	9			9	9			9	7			7	7			7	7			7
	外科	8			8	8			8	9			9	9			9	10			10	9			9	9			9
	消化器外科	(6)			(6)	(6)			(6)	(6)			(6)	(6)			(6)	(3)			0	(2)			0				0
	呼吸器外科	(1)			(1)	(1)			(1)	(1)			(1)	(1)			(1)	(1)			0	(1)			0	(1)			0
	血管外科	(1)			(1)	(1)			(1)	(1)			(1)	(1)			(1)	(1)			0	(1)			0	(1)			0
	乳腺外科	(2)			(2)	(2)			(2)	(2)			(2)	(1)			0	(1)			0	(1)			0	(1)			0
	人工透析外科	1			1	1			1				0				0				0				0				0
	整形外科	8			8	10			10	7			7	7			7	8			8	8			8	8			8
	脳神経外科	6			6	5			5	5			5	4			4	5			5	5			5	5			5
	小児科	8			8	9			9	7			7	7			7	7			7	7			7	7			7
	産婦人科	4			4	5			5	6			6	6			6	6			6	6			6	6			6
	泌尿器科	3			3	3			3	3			3	4			4	4			4	4			4	4			4
	皮膚科	3			3	3			3	3			3	3			3	4			4	4			4	4			4
	眼科	4			4	3			3	4			4	4			4	6			6	5			5	5			5
	耳鼻いんこう科	3			3	4			4	3			3	3			3	3			3	3			3	3			3
	放射線診断科	5			5	1			1	1			1	1			1	1			1	1			1	1			1
	腫瘍放射線科	1			1	1			1	1			1	1			1	1			1	1			1	1			1
	麻酔科	7			7	7		1	8	6		2	8	7		1	8	6		1	7	6		1	7	6		1	7
	リハビリテーション科				0				0				0				0	1			1	1			1	1			1
	歯科口腔外科	3			3	3			3	3			3	3		1	4	4			4	4			4	4			4
	病理診断科	1			1	1			1	1			1	1			1	1			1	1			1	1			1
	臨床検査科	1			1	1			1	1			1	1			1	1			1	1			1	1			1
	救急科	2			2	1			3	3			3	3			3	4			4	4			4	4			4
	IVR・画像診断センター				0	2			2	2			2	2			2	2			2	2			2	2			2
臨床研修センター				0	2			2	2			2	6			6	3			3	5			5	5			5	
人間ドック健診センター	(1)		3	3			3	3			3	3			2	2			2	2			2	2			2	2	
2年目研修医				12	12			8	8			12	12			14	14			15	15			14	14			14	
1年目研修医				7	7			9	9			16	16			15	15			14	14			14	14			14	
1年目研修歯科医				1	1			1	1			1	1			0				0				0				0	
<b>医師 集計</b>		<b>102</b>	<b>0</b>	<b>24</b>	<b>126</b>	<b>99</b>	<b>0</b>	<b>22</b>	<b>121</b>	<b>97</b>	<b>0</b>	<b>34</b>	<b>131</b>	<b>103</b>	<b>0</b>	<b>33</b>	<b>136</b>	<b>104</b>	<b>0</b>	<b>33</b>	<b>137</b>	<b>103</b>	<b>0</b>	<b>32</b>	<b>135</b>				
医療技術員	薬剤師	24			1	25			1	26			28	1			29	1			30	29			1	30			29
	診療放射線技師	31			2	33			1	32			32	1			33	30			2	32			3	32			29
	臨床検査技師	34			10	44			10	46			37	10			47	38			9	47			38	10			48
	理学療法士	17			1	18			1	19			22	1			23	23			1	24			25	25			25
	作業療法士	7			1	8			7	7			9	9			10	10			9	9			9	9			9
	言語聴覚士	5			5	6			6	6			6	6			6	6			6	6			6	6			6
	管理栄養士	8			2	10			1	9			10	1			11	9			1	10			1	11			1
	臨床工学技士	17			1	18			1	20			19	19			20	20			21	21			21	21			21
	視能訓練士	4			4	4			1	5			4	4			4	4			4	4			4	4			4
	歯科衛生士	3			2	5			2	5			3	2			5	5			1	6			6	6			6
<b>医療技術員 集計</b>	<b>150</b>	<b>0</b>	<b>20</b>	<b>170</b>	<b>157</b>	<b>0</b>	<b>18</b>	<b>175</b>	<b>170</b>	<b>0</b>	<b>16</b>	<b>186</b>	<b>174</b>	<b>0</b>	<b>15</b>	<b>189</b>	<b>177</b>	<b>0</b>	<b>15</b>	<b>192</b>	<b>176</b>	<b>0</b>	<b>13</b>	<b>189</b>					
看護師	看護師	498			48	546			51	50			561	515			54	569			48	559			514	49			563
	准看護師	2			8	10			1	9			10	1			9	10			7	8			7	8			1
	助産師	23			5	28			26	5			31	29			5	34			3	32			26	6			32
<b>看護師 集計</b>	<b>523</b>	<b>0</b>	<b>61</b>	<b>584</b>	<b>538</b>	<b>0</b>	<b>64</b>	<b>602</b>	<b>545</b>	<b>0</b>	<b>68</b>	<b>613</b>	<b>541</b>	<b>0</b>	<b>58</b>	<b>599</b>	<b>541</b>	<b>0</b>	<b>62</b>	<b>603</b>	<b>539</b>	<b>0</b>	<b>63</b>	<b>602</b>					
一般行政職	医局秘書				2	2			2	2			2	2			2	2			2	2			2	2			2
	技術職員	2			2	2			2	2			2	2			2	2			2	2			2	2			2
	事務職員	42			19	53			114	46			54	117			47	16			61	124			49	14			62
<b>一般行政職 集計</b>	<b>44</b>	<b>19</b>	<b>55</b>	<b>118</b>	<b>48</b>	<b>17</b>	<b>56</b>	<b>121</b>	<b>49</b>	<b>16</b>	<b>63</b>	<b>128</b>	<b>51</b>	<b>14</b>	<b>64</b>	<b>129</b>	<b>52</b>	<b>12</b>	<b>75</b>	<b>139</b>	<b>52</b>	<b>12</b>	<b>79</b>	<b>143</b>					
技能労務職	医療事務員	13			13	14			14	15			15	15			15	16			16	17			17	17			17
	メディカルエイド	15			61	76			13	69			82	12			71	83			11	74			85	10			62
	作業補助員				2	2			2	2			2	2			2	2			2	2			2	2			2
<b>技能労務職 集計</b>	<b>28</b>	<b>0</b>	<b>63</b>	<b>91</b>	<b>27</b>	<b>0</b>	<b>71</b>	<b>98</b>	<b>27</b>	<b>0</b>	<b>73</b>	<b>100</b>	<b>26</b>	<b>0</b>	<b>76</b>	<b>102</b>	<b>26</b>	<b>0</b>	<b>64</b>	<b>90</b>	<b>26</b>	<b>0</b>	<b>66</b>	<b>92</b>					
<b>総計</b>	<b>847</b>	<b>19</b>	<b>223</b>	<b>1,089</b>	<b>869</b>	<b>17</b>	<b>231</b>	<b>1,117</b>	<b>888</b>	<b>16</b>	<b>254</b>	<b>1,158</b>	<b>895</b>	<b>14</b>	<b>246</b>	<b>1,155</b>	<b>900</b>	<b>12</b>	<b>249</b>	<b>1,161</b>	<b>896</b>	<b>12</b>	<b>253</b>	<b>1,161</b>					

( )は再掲



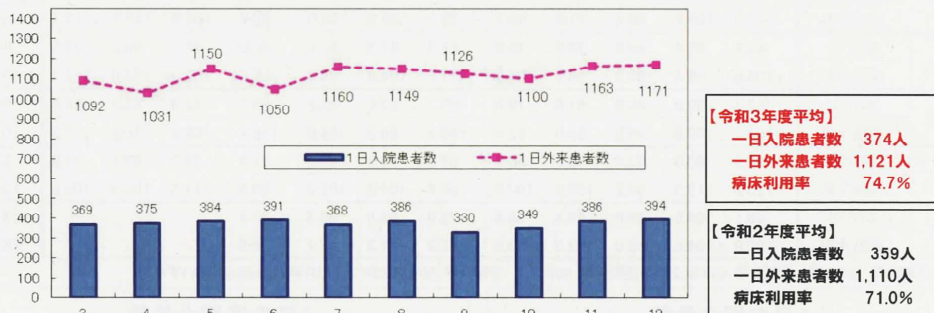


## 地域連携の状況

令和4年2月10日  
 全員協議会資料  
 地域医療支援センター

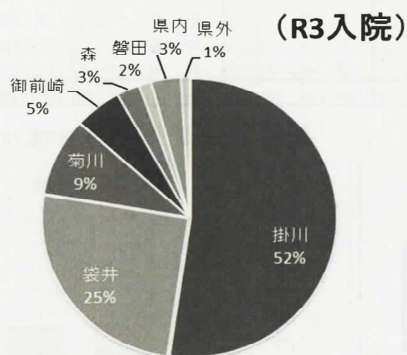
### 1 市別の患者動向(3年12月末現在)

入院・外来患者数の推移

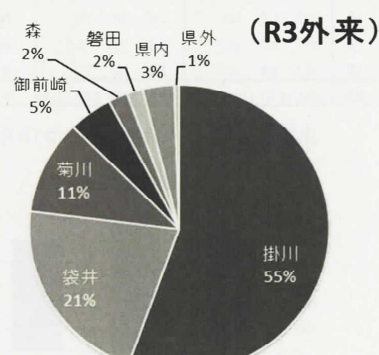


### 2 患者地域別構成比の比較

		H30年度		R元年		R2年		R3年	
		患者数(人)	構成比(%)	患者数(人)	構成比(%)	患者数(人)	構成比(%)	患者数(人)	構成比(%)
入院	掛川市	86,444	54.5	82,622	54.4	72,283	55.2	53,775	52.3
	袋井市	38,693	24.4	36,450	24.0	30,899	23.6	26,011	25.3
	菊川市	11,916	7.5	12,761	8.4	11,264	8.6	9,273	9.0
	御前崎市	8,485	5.3	7,927	5.2	6,434	4.9	5,333	5.2
	その他	13,129	8.3	12,204	8.0	10,036	7.7	8,349	8.1
	計	158,667	100.0	151,964	100.0	130,916	100.0	102,741	100.0
外来	掛川市	171,269	56.5	164,089	56.5	152,735	56.6	113,790	55.5
	袋井市	66,367	21.9	61,938	21.3	56,863	21.1	43,947	21.4
	菊川市	26,653	8.8	27,770	9.6	26,748	9.9	21,615	10.5
	御前崎市	14,811	4.9	13,968	4.8	12,553	4.7	9,799	4.8
	その他	23,910	7.9	22,402	7.7	20,888	7.7	15,925	7.8
	計	303,010	100.0	290,167	100.0	269,787	100.0	205,076	100.0



R3.4月~12月 n=103千人



R3.4月~12月 n=205千人



令和4年2月10日  
 全員協議会資料  
 経営戦略室

## 将来を見据えた病院整備方針について

### 1 趣旨

中東遠総合医療センターの開院から8年が経過し、病院の医療機能が開院当初の想定以上に向上した。また、地域内の医療環境も大幅な変化をみせつつある中で、将来に向けて、中期経営計画（新公立病院改革プラン）にも掲げる、5疾病5事業（プラス新興感染症）への対応、また、地域の医療ニーズを踏まえた当院のあり方を検討し、将来にわたり安定した地域医療体制を確保していくために必要な病院整備方針を策定する。

### 2 検討内容

#### (1) 対応が必須な事項

##### ① 建築基準法不適合箇所の解消

- ・ 今回の病院整備方針に伴う施設改修に併せて、現時点で建築基準法の不適合となっている箇所の解消について検討する。

##### ② ドクターカー導入検討

- ・ ドクターカーは、地域住民が病気やケガなどで生命の危機や重篤な後遺症の危機が生じた際に、医師、看護師等の医療チームが現場に駆け付け、早期に医療介入することで、患者予後の改善に大きく寄与するものである。
- ・ ドクターカーの導入により、厚生労働省が行う救命救急センターの充実度段階評価の向上、医師及び看護師をはじめとする医療従事者への教育推進、救急部門の人材確保等の相乗効果が期待できる。
- ・ 当院では、令和3年度当初から導入に向けた検討を開始しており、令和4年8月以降の運行開始を目指して準備を進めている。
- ・ 県内の運用実績：静岡県立総合病院（712床）、藤枝市立総合病院（564床）、聖隷浜松病院（750床）

#### (2) 施設改修に関連する検討事項

##### ① 敷地内薬局の導入検討

- ・ 平成28年に敷地内薬局に関する規制が緩和され、大学病院や公立病院を中心に敷地内薬局の誘致する動きが広がっている。
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策に加え、ワクチンの接種支援業務により当院の薬剤業務が増大し通常診療に深刻な影響を与えている。本来、必要となる業務と共に新たな新興感染症に備え、薬剤業務の安定確保が急務となっている。
- ・ 敷地内薬局を導入することにより、慢性的に不足している病院薬剤師の負担軽減が期待できるほか、患者の利便性の向上も図られることから、当院では令和5年度上旬の敷地内薬局の開設を目指して準備を進めている。（詳細は24.25ページのとおり。）

##### ② 駐車場の整備検討

- ・ 敷地内薬局の整備により、患者用駐車場の一部が使用できなくなることで、現状でも職員駐車場の台数に余裕がないことを踏まえて、将来の職員数の増加も考慮し、駐車場の確保について検討している。
- ・ 病院周辺の土地購入もしくは借地を含めた検討を行っている。

## ③ 救急医療体制の充実・整備

- ・ 当院は、救命救急センターとして、中東遠保健医療圏における救急医療を守るため、限りある資源の有効活用と最適な病病連携・病診連携のあり方を追求し、将来にわたる安定した医療体制の堅持が求められている。
- ・ 医療圏内の将来推計人口、救急搬送患者の将来推計、疾患別の将来推計、近隣病院からの受入患者の増加等について調査、分析し、将来に向けた救命救急センター（救急外来、救急病棟、集中治療室）のあり方について、施設の拡張や増築を含めた検討を行っている。
- ・ さらに、新型コロナウイルス感染症等の新興感染症にも対応可能な救急医療体制の確保も急務となっている。

## ④ 放射線治療器（サイバーナイフ、トモセラピー）の導入検討

- ・ 中東遠保健医療圏東部における“がん治療の拠点”として、地域がん診療連携拠点病院の指定を目指す中で、放射線治療の受入体制の強化が求められており、今後の照射件数の増加も見据えて、2台目の放射線治療器の導入に向けて検討を行っている。

## ⑤ 人間ドック・健診センターの充実・整備検討

- ・ 人間ドック・健診センターの受診者の確保に向けて、施設の整備やWeb予約の対応などの付加サービスの充実について検討する。

## (3) 個別の検討事項

## ① 院内Wi-fi整備検討に伴う院内ネットワークの見直し

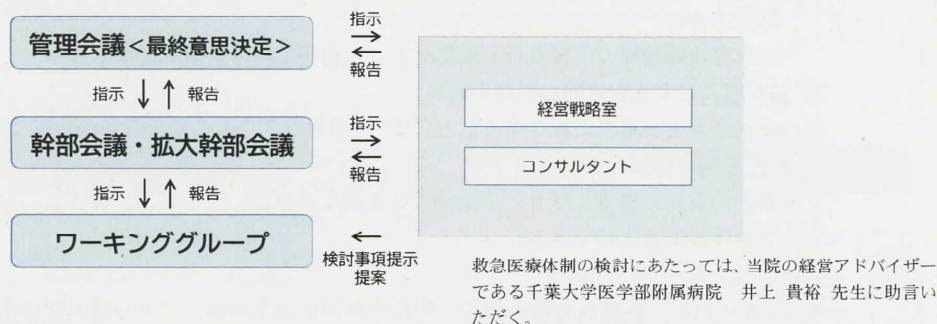
- ・ 病院利用者の利便性の向上を目的として、院内全体の無料wi-fi環境の整備について検討する。

## ② 整備にあたっては、クラウドファンディングの活用も含めて検討する。

## ③ その他検討が必要な事項

## 3 検討の流れ

検討項目ごとにWGを設置し、方針案を作成する。WGの内容は、適宜、幹部会議、管理会議に報告し、意見交換を行う。最終意思決定は、管理会議で行う。



※ 進捗については、企業団運営会議、企業団議会へ適時報告し進めていくものとする。

## 4 検討スケジュール

令和3年度内に、病院整備方針として、各検討項目についての将来に向けた方向性を決定する予定としている。

令和4年2月10日  
全員協議会資料  
管 理 課

## 令和3年度病院事業会計補正予算（第2号）の概要

## 1 補正内容

## 業務量

○実績に基づく入院及び外来患者数の減 「2（1）業務量参照」

## 収益的収入及び支出

- 【収入】 入院収益の減額補正  
外来収益の増額補正  
その他医業収益の減額補正（室料差額収益、人間ドック収益）  
新型コロナウイルス感染症関連の補助金の補正
- 【支出】 給与費の増額補正（賞与は減額だが、コロナ対応により手当増）  
実績により材料費を増額補正  
電気料、都市ガス料、委託料等を減額補正  
修学資金貸付対象者、勤務開始が後年度になったことによる引当額の減  
たな卸し資産購入限度額増に伴う雑損失の増（控除対象外消費税）

## 資本的収入及び支出

- 【収入】 補助金充当額増による企業債の減額補正  
新型コロナウイルス感染症関連の補助金の補正
- 【支出】 修学資金貸付対象者の減による投資の減額補正

## 債務負担行為の追加

R3～R4ターボ冷凍機RC-3分解整備工事

（令和4年度単年度工期では、新型コロナの影響等により遅延の可能性があるため）

## 企業債限度額の減額補正

補助金による医療機器整備により、起債額減少（2億円→8,570万円）

## たな卸資産購入限度額

43億5,990万6,000円に改める（3億2,000万円増）

## 重要な資産の取得追加

術中用X線撮影装置、ナースコールシステムサーバー更新

## 2 業務量

## (1) 入院・外来

項目	既決予定額	補正後	増減
入院			
1日あたり患者数（人）	400	372	△ 28
診療日数（日）	365	365	0
延べ患者数（人）	146,000	135,780	△ 10,220
病床利用率	80.0%	74.4%	△5.6%
診療単価（円）	73,000	74,000	1,000
入院収益（千円）	10,658,000	10,047,720	△ 610,280
外来			
1日あたり患者数（人）	1,150	1,120	△ 30
診療日数（日）	242	242	0
延べ患者数（人）	278,300	271,040	△ 7,260
診療単価（円）	15,800	17,500	1,700
外来収益（千円）	4,397,140	4,743,200	346,060



## 3 予算実施計画

## (1) 収益的収入及び支出

(税込、単位：千円)

款項目	既決予定額	今回補正額	計	主な補正内容
病院事業収益	19,209,453	1,189,717	20,399,170	
医業収益	16,251,461	△ 401,220	15,850,241	
入院収益	10,658,000	△ 610,280	10,047,720	延患者数の減 146,000人→135,780人(10,220人減) 診療単価の増 73,000円→74,000円(1,000円増)
外来収益	4,397,140	346,060	4,743,200	延患者数の減 278,300人→271,040人(7,260人減) 診療単価の増 15,800円→17,500円(1,700円増)
その他 医業収益	901,979	△ 137,000	764,979	室料差額収益 76,000千円減 医療相談収益 61,000千円減
医業外収益	2,957,991	1,590,937	4,548,928	
補助金	1,485,769	1,586,374	3,072,143	新型コロナウイルス感染症関連
保育園収益	16,189	△ 7,000	9,189	実績による減
その他 医業外収益	61,127	11,563	72,690	コロナ感染症対応療養ホテル運営受託
病院事業費用	18,114,004	391,137	18,505,141	
医業費用	17,308,575	400,107	17,708,682	
給与費	9,420,171	204,966	9,625,137	給料 19,925千円減 手当 104,556千円増 報酬 30,000千円増 法定福利費 16,457千円減 退職給付引当金 106,792千円増
材料費	3,844,725	251,500	4,096,225	薬品費 70,000千円増 診療材料費 180,000千円増 給食材料費 1,500千円増
経費	2,688,914	△ 56,359	2,632,555	主な補正項目 光熱水費 17,900千円減 燃料費 19,500千円減 委託料 18,959千円減
医業外費用	771,647	△ 8,970	762,677	
院内保育園 運営費	76,324	△ 7,000	69,324	実績による減
貸倒引当金 医業外繰入額	45,360	△ 35,470	9,890	修学資金貸付対象のうち指定勤務 開始対象者の減
雑損失	351,254	33,500	384,754	たな卸し資産購入限度額減に伴う 貯蔵品控除対象外消費税の増

## (2) 資本的収入及び支出

(税込、単位：千円)

款項目	既決予定額	今回補正額	計	主な補正内容
資本的収入	1,055,591	△ 110,611	944,980	
企業債	200,000	△ 114,300	85,700	補助金により借入額減少
貸付資金返 還金	8,020	1,212	9,232	返還金対象者の増
補助金	113,189	2,477	115,666	新型コロナウイルス感染症関連
資本的支出	1,604,057	△ 2,970	1,601,087	
投資	4,320	△ 2,970	1,350	貸付対象者の減

## 《参考》主要財源推移

資本的収入	当初	1号補正後	2号補正後
企業債	200,000	200,000	85,700
補助金	0	113,189	115,666
参考合計	200,000	313,189	201,366

## 令和4年度病院事業会計予算の概要

## 1 業務量

## ■入院・外来

項 目	令和 3 年度当初	令和 4 年度当初	前年比
入院			
1日あたり患者数(人)	400.0	400.0	0.0
診療日数(日)	365	365	0
延べ患者数(人)	146,000	146,000	0
病床利用率	80.0%	80.0%	0
診療単価(円)	73,000	75,000	2,000
入院収益(千円)	10,658,000	10,950,000	292,000
外来			
1日あたり患者数(人)	1,150.0	1,150.0	0.0
診療日数(日)	242	243	1
延べ患者数(人)	278,300	279,450	1,150
診療単価(円)	15,800	18,000	2,200
外来収益(千円)	4,397,140	5,030,100	632,960

## 2 当初予算案

## (1) 収益的収入及び支出

(税込、単位：千円)

款項目	令和 3 年度当初	令和 4 年度当初	増 減	増減率
病院事業収益	17,758,765	18,701,944	943,179	5.3%
医業収益	16,251,461	17,154,288	902,827	5.6%
入院収益	10,658,000	10,950,000	292,000	2.7%
外来収益	4,397,140	5,030,100	632,960	14.4%
その他医業収益	901,979	884,252	△ 17,727	△2.0%
他会計負担金	294,342	289,936	△ 4,406	△1.5%
医業外収益	1,507,303	1,547,655	40,352	2.7%
内 負担金交付金	697,386	753,814	56,428	8.1%
内 長期前受金戻入	359,206	394,841	35,635	9.9%
内 資本費繰入収益	338,313	298,212	△ 40,101	△11.9%
特別利益	1	1	0	0.0%
病院事業費用	18,096,024	18,966,663	870,639	4.8%
医業費用	17,290,595	18,169,461	878,866	5.1%
給与費	9,420,171	9,758,512	338,341	3.6%
材料費	3,844,725	4,306,063	461,338	12.0%
経費	2,670,934	2,729,657	58,723	2.2%
減価償却費	1,256,819	1,270,576	13,757	1.1%
資産減耗費	17,536	16,393	△ 1,143	△6.5%
研究研修費	80,410	88,260	7,850	9.8%
医業外費用	771,647	774,297	2,650	0.3%
特別損失	28,782	17,905	△ 10,877	△37.8%
予備費	5,000	5,000	0	0.0%

【参考：予算上(税込)の差額】

医業収支の差額	△ 1,039,134	△ 1,015,173	23,961	2.3%
事業収支の差額	△ 337,259	△ 264,719	72,540	21.5%

## (2) 資本的収入及び支出

(税込、単位：千円)

款項目	令和3年度当初	令和4年度当初	増減	増減率
資本的収入	942,402	942,005	△397	△0.0%
企業債	200,000	250,000	50,000	25.0%
負担金	734,382	682,360	△52,022	△7.1%
貸付資金返還金	8,020	9,642	1,622	20.2%
補助金等	0	3	3	皆増
資本的支出	1,591,378	1,577,416	△13,962	△0.9%
建設改良費	455,006	527,434	72,428	15.9%
企業債元金償還金	1,132,052	1,045,662	△86,390	△7.6%
投資	4,320	4,320	0	0.0%

## 3 建設改良

(税込、単位：千円)

項目	令和4年度当初	主な内容
施設改良費	23,062	ターボ冷凍機RC-3分解整備ほか改修工事等
医療機器等購入	504,372	医療機器等 392,787 その他機器等購入費 54,235 移設機器等購入 (H25から、10年間分割払い) 57,350
計	527,434	

## 4 企業債借入状況

(単位：千円)

借入先	期首残高	借入高	償還高	年度末残高
財政融資資金	11,380,122	0	465,486	10,914,636
地方公共団体金融機構	3,411,756	250,000	580,176	3,081,580
計	14,791,878	250,000	1,045,662	13,996,216

## 5 貸借対照表

(税抜、単位：千円)

科目	令和3年度期末見込	令和4年度期末見込	増減
<b>資産の部</b>	<b>22,532,713</b>	<b>22,196,409</b>	<b>△336,304</b>
固定資産	14,018,216	13,160,361	△857,855
有形固定資産	13,017,883	12,331,057	△686,826
無形固定資産	554,205	383,530	△170,675
投資	446,128	445,774	△354
流動資産	8,514,497	9,036,048	521,551
現金預金	5,426,240	6,135,401	709,161
その他	3,088,257	2,900,647	△187,610
<b>負債の部</b>	<b>19,587,427</b>	<b>19,512,049</b>	<b>△75,378</b>
固定負債	15,869,612	15,529,692	△339,920
流動負債	2,799,430	3,099,231	299,801
繰延資産	918,385	883,126	△35,259
長期前受金	4,789,301	5,148,883	359,582
収益化累計額	△3,870,916	△4,265,757	△394,841
<b>資本の部</b>	<b>2,945,286</b>	<b>2,684,360</b>	<b>△260,926</b>
資本金	1,302,075	1,302,075	0
資本剰余金	121,735	146,304	24,569
利益剰余金(△は欠損金)	1,521,476	1,235,981	△285,495
<b>資産及び負債資本合計</b>	<b>22,532,713</b>	<b>22,196,409</b>	<b>△336,304</b>

## ○経営の状況

- ・入院、外来患者数については、新型コロナウイルス感染症の影響が縮小すると見込む  
診療単価については、令和3年度の実績から設定
- ・医業収益は、増収見込み
- ・診療収入の増加により、材料費、経費についても増加すると見込む
- ・新型コロナウイルス関連の交付金等の想定はしていない



## 2. 掛川市・袋井市病院企業団議会定例会

PM3 : 30～

### 議案>

- ・ 議案第1号 令和3年度掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計補正予算（第2号）  
について・・・・・・・・全員賛成 可決承認
- ・ 議案第2号 令和4年度掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計予算について  
・・・・・・・・全員賛成 可決承認

資料 6 7 8 9参照

- ・ 議案第3号 専決処分の承認を求めることについて  
（掛川市・袋井市病院企業団企業長の給与及び旅費に関する条例の一部改正）  
・・・・・・・・全員賛成 可決承認

### ◆令和4年度病院事業会計（本会議）質疑

Q 職員の給料について、こういうところは手を付けられないか。

A 令和4年度、近隣病院や県立病院で検討している。企業庁の判断で進めたい。今のところ8月の補正で対応したい。

以上